

Agilent PFA ボトル用 SPS オートサンプルラック

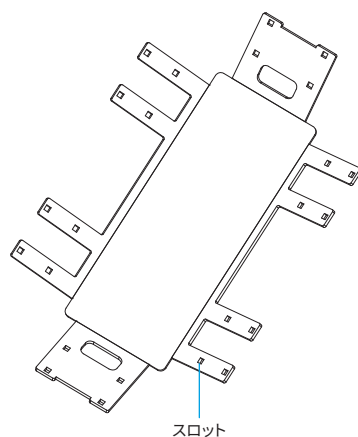
表 1. Agilent PFA ボトルで使用できる SPS オートサンプルラック

SPS ラックの 部品番号	SPS ラックの説明	Agilent PFA ボトルの 部品番号	Agilent PFA ボトルの説明
G8410-68001	SPS サンプルラック、21 本のボトル × 外径 31.5 mm	G8410-68011	PFA ラボボトル、 20 mL、33 mm キャップ付き
G8410-68002	SPS サンプルラック、10 本のボトル × 外径 38 mm	G8410-68012	PFA ラボボトル、 50 mL、33 mm キャップ付き
G8410-68003	SPS サンプルラック、4 本のボトル × 外径 57.5 mm	G8410-68013	PFA ラボボトル、 100 mL、GL45 キャップ付き
G8410-68004	SPS サンプルラック、2 本のボトル × 外径 72 mm	G8410-68014	PFA ラボボトル、 200 mL、GL45 キャップ付き
G8410-68005	SPS サンプルラック、2 本のボトル × 外径 87 mm	G8410-68015	PFA ラボボトル、 500 mL、GL45 キャップ付き

SPS ラックの組み立て

注記：21 本のボトル × 31.5 mm のラックに必要なのは、1 つのトレイのみです。

SPS ラックアセンブリホルダ



SPS ラックアセンブリプレート

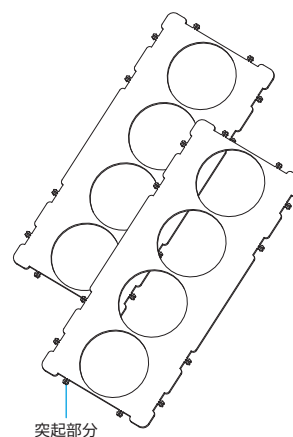
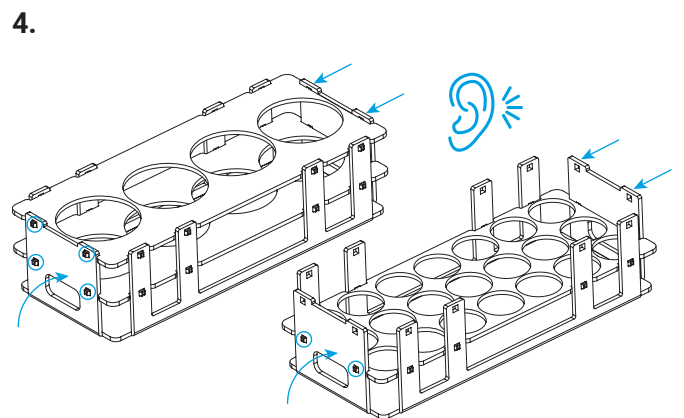
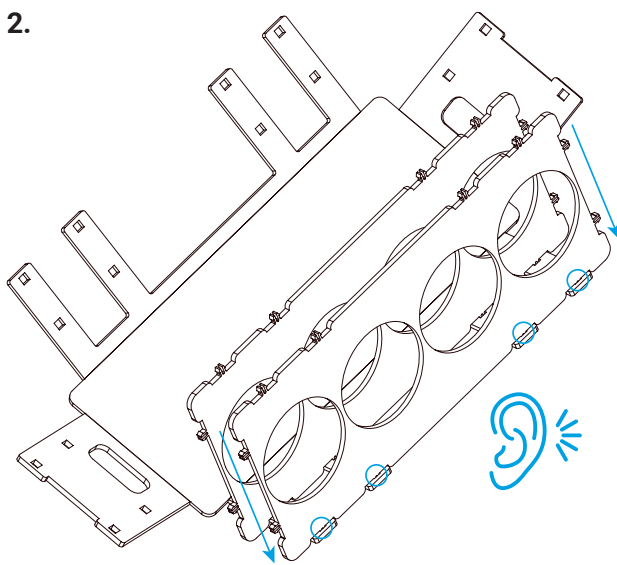
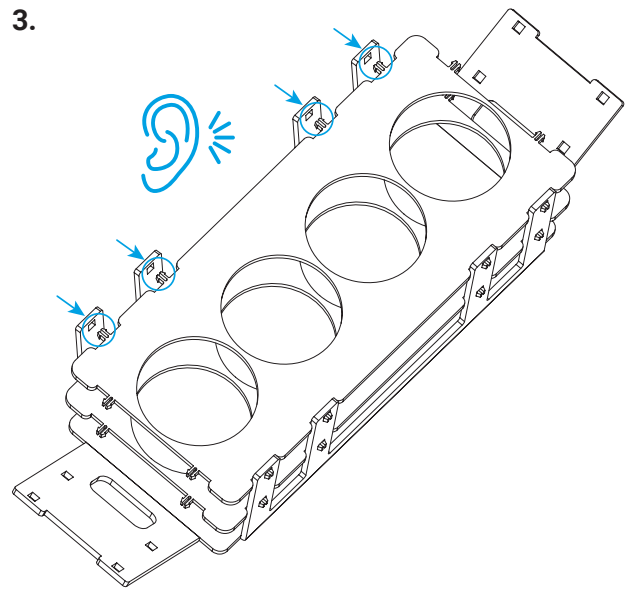
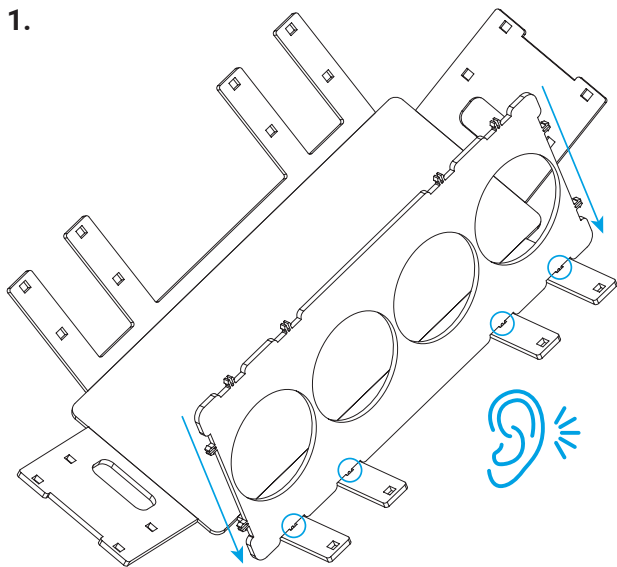


図 1. ラックアセンブリホルダと 2 枚のプレート。スロットと突起部分の例を示しています。



ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンター

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っていません。
本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

DE-010211

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2025

Printed in Japan, October 9, 2025

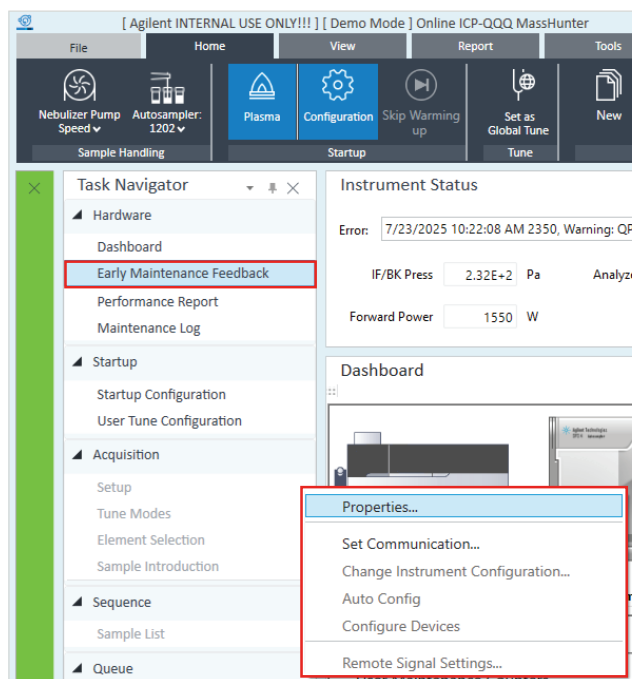
G8410-68007JP



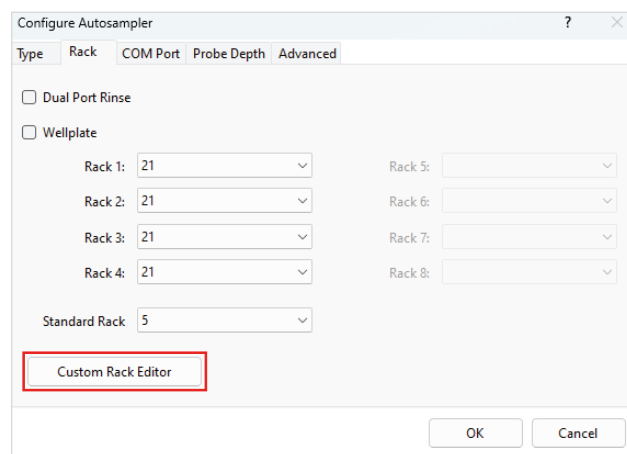
ICP-MS MassHunter 5.4 以上での SPS カスタムラックの使用方法

Agilent SPS オートサンプラ用カスタムラックエディタは、2025 年 4 月にリリースされた ICP-MS MassHunter 5.4 (G7201D D.01.04) 以上のバージョンで利用可能です。以下の手順では、カスタムラックを設定するための主要なステップについて説明します。

1. [Early Maintenance Feedback (アーリーメンテナンスフィードバック)] で、SPS オートサンプラの画像を左クリックして、**Properties... (プロパティ ...)** を選択します。



2. [Rack (ラック)] タブで、**Custom Rack Editor (カスタムラックエディタ)** をクリックします。



3. ラックを指定して、適切な名前を付けて保存します。表 2 に、Agilent PFA ラボボトル用の各カスタム SPS ラックに関する情報をまとめています。

表 2. Agilent PFA ラボボトル用の各カスタム SPS ラックのパラメータ

	ラックのバージョン				
	G8410-68001 21 ポジション 20 mL PFA ボトル	G8410-68002 8 ポジション 50 mL PFA ボトル	G8410-68003 4 ポジション 100 mL PFA ボトル	G8410-68004 2 ポジション 250 mL PFA ボトル	G8410-68005 2 ポジション 500 mL PFA ボトル
形状	円形	円形	円形	円形	円形
幅 (mm)	32	38	58	72	87
ベースラックタイプ	21	60	60	60	60
ポジション	ベースバイアル番号				
1	R101	R202	R302	R303	R303
2	R102	R205	R305	R310	R310
3	R103	R208	R308		
4	R104	R211	R311		
5	R105	R402			
6	R106	R405			
7	R107	R408			
8	R201	R411			
...	R202 ~ 206				
14	R207				
15	R301				
...	R302 ~ 306				
21	R307				

図 2 ~ 6 は、Agilent PFA ラボボトル用のさまざまな SPS ラックの作成過程を示しています。

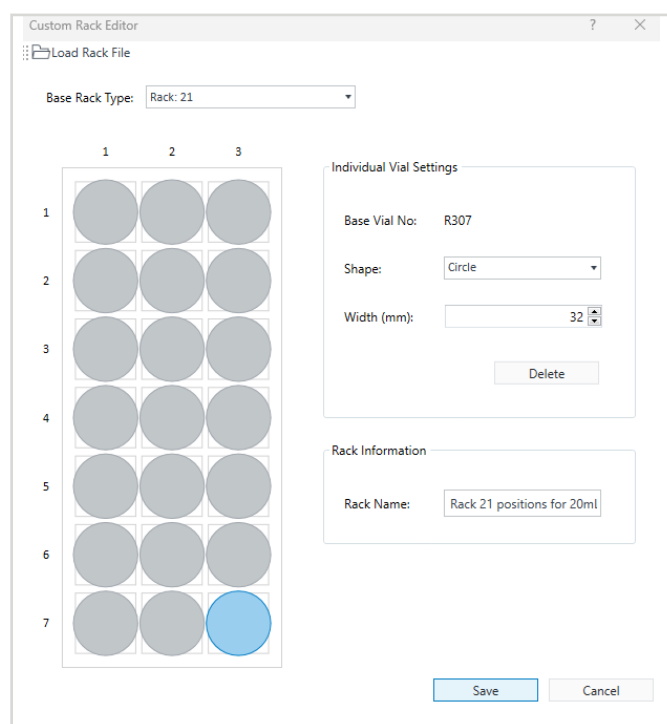


図 2. 最大直径 31.5 mm の 21 本のボトル用 21 ポジションの G8410-68001 ラックの作成

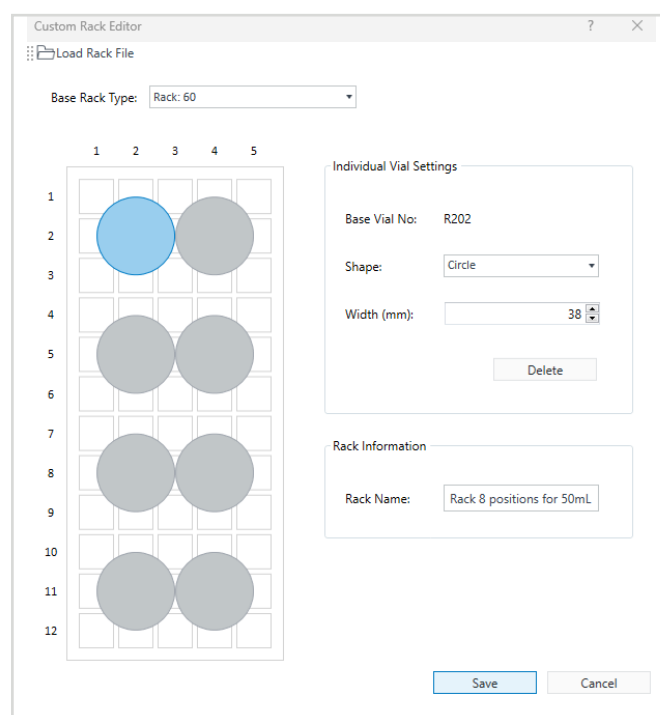


図 3. 最大直径 38 mm の 8 本のボトル用 8 ポジションの G8410-68002 ラックの作成

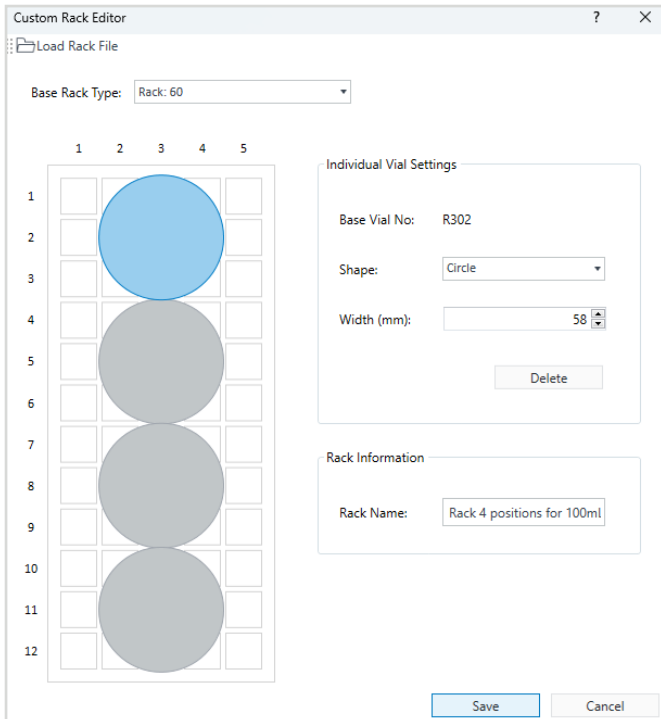


図 4. 最大直径 57.5 mm の 4 本のボトル用 4 ポジションの G8410-68003 ラックの作成

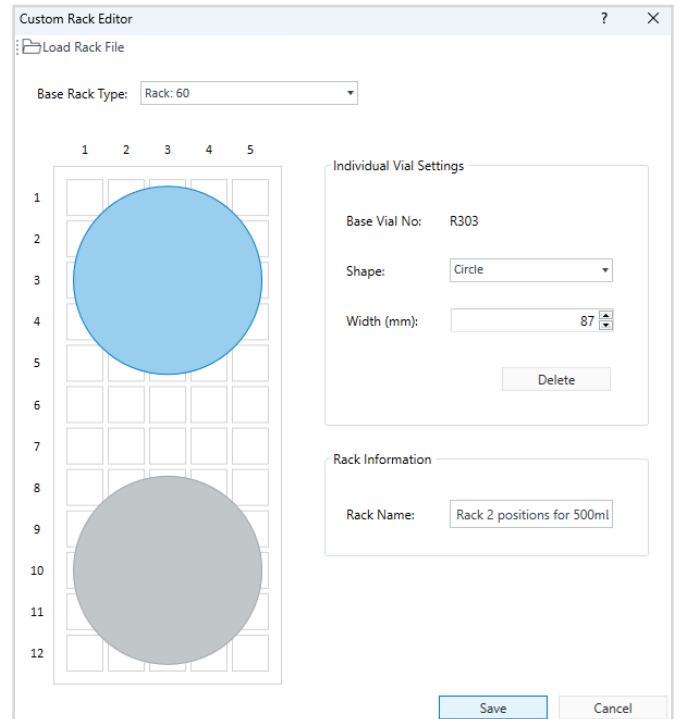


図 6. 最大直径 87 mm の 2 本のボトル用 2 ポジションの G8410-68005 ラックの作成

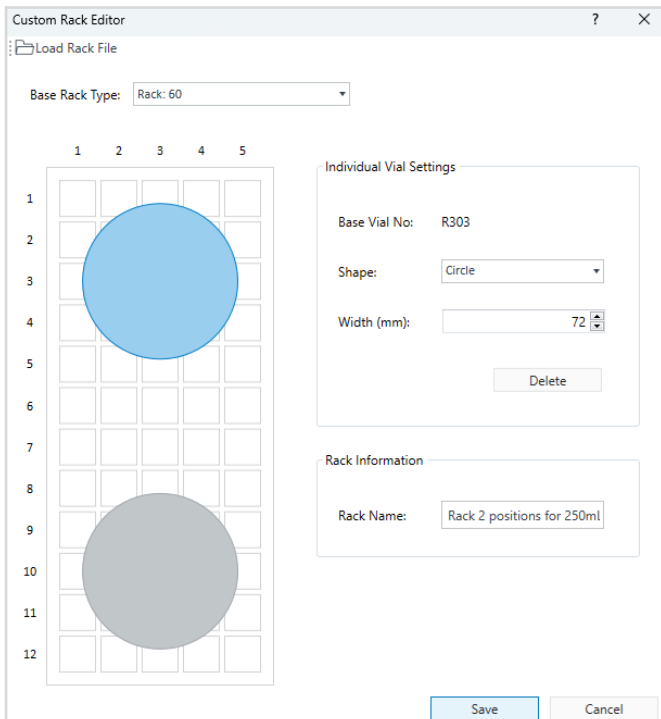


図 5. 最大直径 72 mm の 2 本のボトル用 2 ポジションの G8410-68004 ラックの作成

ラックを作成して保存すると、図 7 に示すように、各 SPS オートサンプラ用ラックのドロップダウンメニューから、作成したカスタムラックにアクセスできるようになります。

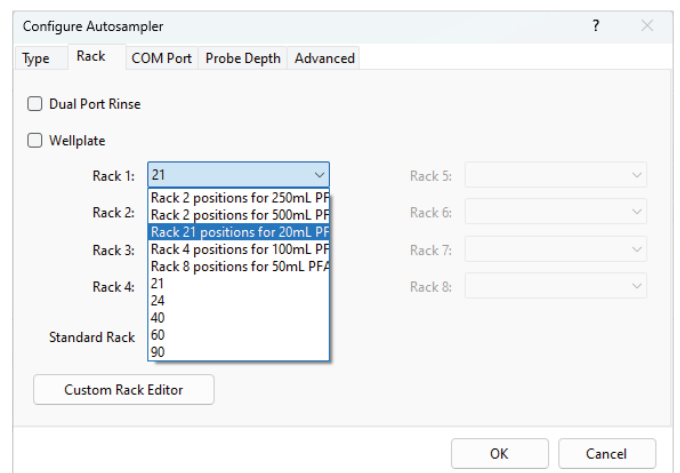
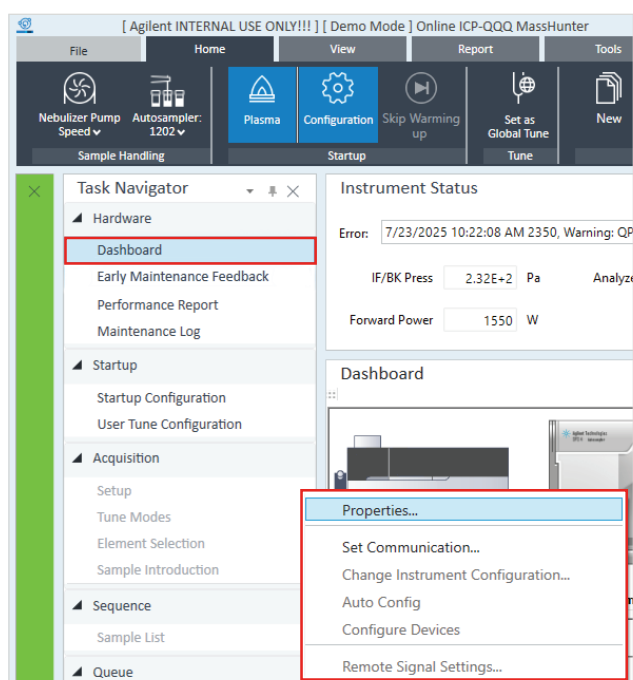


図 7. 各 SPS オートサンプララックのドロップダウンメニュー

ICP-MS MassHunter 5.3 以下での SPS カスタムラックの使用方法

1. [Dashboard (ダッシュボード)] で、SPS オートサンプラの画像を左クリックして、**Properties... (プロパティ ...)** を選択します。



2. [Rack (ラック)] タブで、適切なラックを設定します。

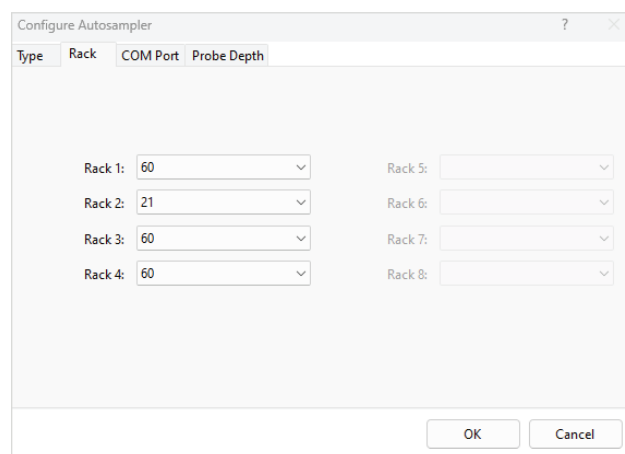


表 3 は、設定するラックと、各ボトルでプローブを移動させる際に使用するポジションを示しています。

表 3. 設定するラックと、各ボトルでプローブを移動させる際に使用するポジション

	ラックのバージョン				
	G8410-68001 21 ポジション 20 mL PFA ボトル	G8410-68002 8 ポジション 50 mL PFA ボトル	G8410-68003 4 ポジション 100 mL PFA ボトル	G8410-68004 2 ポジション 250 mL PFA ボトル	G8410-68005 2 ポジション 500 mL PFA ボトル
設定する標準ラック	21	60	60	60	60
ポジション	示されたバイアル番号				
1	X101	X202	X302	X303	X303
2	X102	X205	X305	X310	X310
3	X103	X208	X308		
4	X104	X211	X311		
5	X105	X402			
6	X106	X405			
7	X107	X408			
8	X201	X411			
...	X202 ~ 206				
14	X207				
15	X301				
...	X302 ~ 306				
21	X307				

X の部分はラック番号に置き換えてください。

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンター

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。
本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

DE-010211

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2025

Printed in Japan, October 9, 2025

G8410-68007JP

